

## 川崎市シェアサイクル実証実験を継続します

～一層の利用・普及促進に向けて対象エリアを拡大～

本市では、平成31年3月から約2年間、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺及び殿町・大師河原エリアの2地区を対象に公共用地等を活用した川崎市シェアサイクル実証実験を実施してきました。

下記の検証結果等を踏まえ、引き続き、取組を進めてまいります。

### 1 実験期間の延長

- ・実験期間を9カ月間延長します。

【現行の期間】 平成31年 3月18日 ～ 令和3年 3月31日

【延長後の期間】 令和 3年 4月 1日 ～ 令和3年12月31日

### 2 対象エリアの拡大

《対象エリア》

【現行】 ○登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリア

【拡大】 ○川崎駅周辺エリア

○武蔵小杉駅周辺エリア

○鷺沼・宮前平駅周辺エリア

○殿町・大師河原エリア

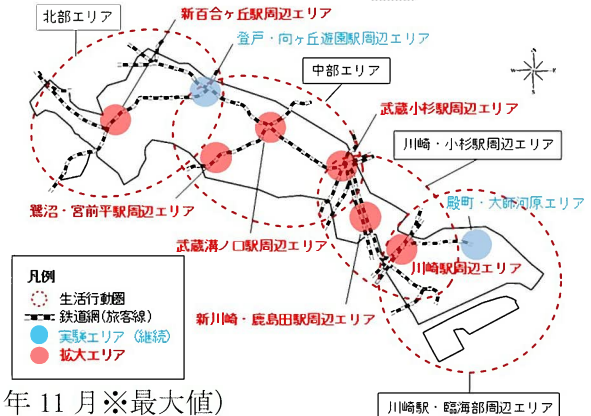
○新川崎・鹿島田駅周辺エリア

○武蔵溝ノ口駅周辺エリア

○新百合ヶ丘駅周辺エリア

- ・市民の日常的な生活エリアである4つの「生活行動圏」における、都市拠点（駅を中心に概ね1.5km）を対象に実験エリアを拡大します。

- ・サイクルポートについては、市役所や区役所周辺、公園、道路等の公共施設への増設に加え、民間施設への設置の充実を図り、取組を進めます。



### 3 検証結果

(1) 利用実績	(平成31年4月)	(令和2年11月※最大値)	
・利用者数	5,222人/月	2,363人/月	[1,841人増 約5倍]
・利用回数	1,667回/月	10,340回/月	[8,673回増 約6倍]

### (2) 効果・課題

- ・買い物・通勤などの日常利用において、徒歩・バス等の移動手段に加えてシェアサイクルを利用することで、駅・公共施設へのアクセス性・利便性の向上と、地域の活性化、観光振興や公共交通機能の補完に一定程度寄与しました。
- ・アンケート調査において、回答者の約6割の方が利用サービスに満足、9割以上の方から今後も利用してみたいとのことであるが、より使いやすい場所へのサイクルポートの充実などの要望がありました。
- ・主な課題として、大半が実験エリア内での利用となっており、利用範囲、目的、効果が限定されることから、一層の利用・普及促進につなげる必要があります。

### 4 今後の取組

- ・これらの効果や課題を踏まえ、引き続き地域における利用状況を把握し、市域全体への効果の波及を含めた事業性等の効果検証を行う必要があるため、期間の延長及び対象エリアの拡大を図り、一層の利用・普及促進に向けて、実証実験を継続します。

【問合せ先】

川崎市建設緑政局自転車利活用推進室 中田  
電話 044-200-2302